



だっこするよ

2022年11月

社会福祉法人茂原高師保育園
北区立赤羽台保育園

園長 奥戸 昌子

One for All, All for One みんなは一人のために、一人はみんなの願いのために

空気が澄み渡り、空が美しい季節になりましたね。天高く馬肥ゆる秋です。幼児組の運動会にご参加いただき温かな拍手や応援を有り難うございました。行事は、子どもたちのためのもの！！その思いを更に強くしました。集合時間を含め行事運営へのご協力に心より感謝申し上げます。有り難うございました。

親子で元気に運動しようのねらい通り、一人ひとりママやパパとリラックスして伸び伸びと楽しんでいた3歳児組。駆けっこやダンスを自分たちの力で頑張り、一つ成長した姿を見せてくれた4歳児組。駆けっこもダンスも自信に満ちた目をしていました。そして、5歳児組は、今年も感動的な運動会でした。「自分達のために運動会をやりたい！」と話し合っただけで決めたことでその意欲が最後まで持続して主体的に取り組んでいました。

気合いの入った掛け声から始まったソーラン節、体操教室で習ってきた組体操とパラバルーン、指先に視線を向けて、真剣な表情が眩しく感じました。そして、親子対抗ボール運び、ドラマがここから生まれました。ほし組園児、保護者チーム、勝ったのは保護者チームでした。おひさま組は園児チームが勝ち、最後の決勝は、職員チームとほし組保護者、おひさま組園児チームの3者で対戦・・・なんと1位は、ほし組保護者チーム！！盛り上げてくださった2クラスの保護者の皆さん、有り難うございました。

そして、最後のクラス対抗リレーへ。負けた悔しさでリレーに向かったほし組、おひさま組も勝ちたい、全員が全力で走りました。一人一人がバトンをつなぎ、チームのために必死で走り抜けた一周はどんな気持ちだったのでしょうか・・・どの子もキラキラと輝いていました。息を呑む接戦の中で、ゴールを切ったのは、ほし組・・・負けた悔しさ、勝った喜びは勿論ですが、友だちを思いやる子、助け合う姿は、One for All, All for Oneでした。健闘した2クラスの仲間たちへ惜しみない拍手が鳴り止みませんでした。閉会式「人生で大切なのは、勝ち負けではないことを教えてくれたよ。みんなが素晴らしい姿を見せてくれたよ。ここで体験したことは、全部これから生きていく自分の力になるよ。」と伝えながら涙が溢れました。

保護者からいただいた感想です。

3歳児保護者「発達に合わせた競技内容で、玉入れの数数えを通してたくさん数字が数えられるようになったし、平均台など3歳になって成長とともにできるようになった事が見れた。よくプログラムが考えられていると感じた。」「親子で3つも参加出来て嬉しかったです。成長を感じました。」

4歳保護者「子どもたちそれぞれの表現やがんばりを発揮する機会になり、一人ひとりがとっても魅力的で愛らしかったです。上手くこなすことを求めるのではなくてみんなが自分らしくいれる温かい園に通うことができ幸せです。私は運動が苦手な子どもだったので運動会が大嫌いだったタイプでしたが赤羽台保育園の運動会ならわくわく楽しめたと思います。」「先生がおんがして走る姿、参加出来ないお子さんにも役割があって配慮されていた。とても良かった。」

5歳児保護者「子どもの自主性をいかにしながら導いてくださり有り難うございます。親子競技に負けて悔しい思いもしたようですが、それもまた良い経験だと思います。ソーラン節の力強い頑張りの顔と、パラバルーンの楽しい顔、親子競技での悔しさからしゅんとする顔、最後のリレーで勝てたけど相手チームで泣いている子がいてそれを思い遣る複雑な顔、色んな顔を見せてもらいました。全てが糧になっていくと思います。」

子どもたちは、自ら育つ力を内包していて、その時期が来ると驚くほど成長します。幼児教育の目標は「遊びること」です。心が動く体験が日々積み重なって、やがて「学び」へと集結していきます。11月、4・5歳は焼き芋パーティーです。火起こしからのSDGs身近な資源を集めながら安全第一に焚き火と焼き芋を楽しみます。火起こし練習もバッチリでした。赤羽自然観察公園の紅葉も見頃です。今年の秋も満喫するぞ！